

揖 竜 地 区 の 蜻 蛉 相

相 坂 耕 作

「夕焼け小焼けの赤トンボ負われて見たのはいつの日か 山の畑の桑の実を小籠につんだは幻しか」これは有名な三木露風作詞の赤トンボの一節である。文学碑としていまも竜野公園の中心をなして立っている。また三木露風の生家も同公園付近にある。

このように竜野市(旧揖保郡竜野町)は全国に知られるトンボに関係の深い地であり、付近にはトンボにちなみ国民宿舎「赤トンボ荘」製麺会社が以前つけていた「鬼ヤンマラーメン」、ゴミ集回車の「赤トンボのチャイム」など数えあげればきりが無い程トンボとはきってもきれない土地柄なのである。

兵庫県下のトンボ研究は旧い所では井口宗平・兵庫県佐用郡産35種(1908)、戸沢義信・甲山付近の蜻蛉47種(1930)があり、近いところで山本義丸・兵庫県水上郡昆虫目録NATURA特別号(1958)で62種、最近としては関西トンボ談話会・近畿地方のトンボで兵庫県下の詳しいリストが出来つつあるが、西播磨の中心でもある揖竜地区のトンボの文献はほとんどない。幸いにも私は高校時代を揖保川のそばで学んだ。学校の裏山は原始林「鶏籠山」で、学校の近くには野生の鹿が水を飲みにくるほど自然に恵まれた地でもあった。

また私はあることがきっかけで今回も標本等御恵与下さった菅原昭夫氏と知り合い氏のお宅が揖保郡御津町ということで竜野市同様よく同地を訪れる機会があり御津町のトンボを多く調査することが出来た。尚菅原氏には多くの知見を得、その大きなものとして同氏のハネピロエゾトンボの発見である。それがきっかけとなりオオエゾトンボなど稀種トンボの同地での発見、マルタンヤンマ・アオヤンマ・ハネピロトンボなど分布上注目すべきトンボ、極めて稀種といわれるネアカヨシヤンマの発見へとつながったわけである。

今回揖竜地区のトンボ相としてリストを作ったのは私自身が所蔵の標本52種および私自身が目撃した種1種および三木安貞氏所蔵の標本1種であり、文献上にある種類(例えばハッチョウトンボやタイリクアカネ等)は省くことにした。その理

由としてトンボの生活環境は幼虫時代は水中生活をするという過程を経るから、何らかの影響により水質が悪くなっていれば絶滅ということも考えられるから(もちろん採集資料にもいえるが)で実際に採集した資料ほど確実さが無いと思うからである。

以上のようなことから不完全ではあるが、興味ある種も少くはないのでここに報告をし、尚完全な揖竜地区の蜻蛉リストを作るべく努力をしたいと思います。

尚この本文を稿するに当りエゾトンボ科の同定をお願いした国際蜻蛉学会の井上清先生および貴重な標本の恵与や資料を頂いた姫路昆虫同好会のトンボ屋仲間三木安貞・菅原昭夫各氏に感謝致します。

トンボの採集地は次の記号で表した

竜野市竜野町	A
〃 揖西町	B
揖保郡御津町	C
〃 揖保川町	D
〃 太子町	E

「蜻 蛉 類」

均 翅 類

- イトトンボ科 *Agriionidae*
 - キイトトンボ *Ceriagrion melanurum* Selys.
1972, 8 C
1972, 9 D
出現期 5~9月
 - アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* Brauer.
1972, 9 C
1973, 5 C
出現期 5~9月
 - アオモンイトトンボ *Ischnura senegalensis* Rambur:
1976, 8 C
出現期 4~10月

- (4) クロイトトンボ *Cercion catamorum*
Ris:
1972, 8 C
1972, 9 C
出現期 5~9月
- (5) セスジイトトンボ *Cercion hieroglyphicum* Brauer:
1976, 5 C
1976, 8 C
出現期 5~9月
2. モノサシトンボ科 *Platycnemidae*
- (6) モノサシトンボ *Copera annulata*
Selys.
1969, 9 A
1972, 8 A
1972, 8 C
1972, 9 D
1973, 5 C
1975, 9 A
1976, 9 C
出現期 5~9月
3. アオイトトンボ *Lestidae*
- (7) アオイトトンボ *Lestes sponsa*
Hansemann.
1972, 7 E
出現期 5~10月
- (8) コバネアオイトトンボ *Lestes japonicus* Selys.
1972, 7 E
1976, 9 C
出現期 5~10月
4. カワトンボ科 *Calopterygidae*
- (9) ハグロトンボ *Calopteryx atrata*
Selys.
1966, 7 A
1972, 8 C
出現期 5~10月
- (10) カワトンボ *Mnais strigata*
Selys.
1967, 5 A
出現期 4~7月
採集品は淡橙色型であるがおそらく一般的な透明型も分布しているものと思う。
- 不均翅類
5. サナエトンボ科 *Gomphidae*
- (11) ヤマサナエ *Gomphus melaenops*
Selys.
1965, 5 A
出現期 4~7月
- (12) フタスジサナエ *Trigomphus interruptus* Selys.
1973, 5 C
1973, 4 B
1973, 5 B
1973, 7 B
出現期 4~7月
5月頃山間部の水田および池の付近に多い。
- (13) オグマサナエ *Trigomphus ogumai*
Asahina.
1973, 4 C
1973, 5 C
1973, 4 B
1973, 5 B
出現期 4~5月
溜池や灌漑用の溝川などに多い西播地方で春期最も多いサナエトンボである。
- (14) タベサナエ *Trigomphus cltimus*
tabei Asahina.
1966, 5 A
出現期 4~6月
前種と同じく春のサナエトンボだがオグマサナエほど多くはないようである。
- (15) ダビドサナエ *Pauidius nanus* Selys.
1967, 5 A
出現期 4~6月
山間の溪流沿いにのみ見出される。
- (16) オジロサナエ *Stylogomphus suxurii*
Oguma.
1965, 6 A
出現期 5~8月
広範囲に分布しているが、いずれの地でも少ない。
- (17) オナガサナエ *Onychogomphus viridicostus* Oguma.
1966, 7 A
1967, 6 A
1976, 7 C
出現期 6~9月

(18) コオニヤンマ *Sieboldius albardae*
Selys.

1966, 6 A (新宮町との間)
1967, 6 A
1976, 8 A

出現期 5~9月

(19) ウチワヤンマ *Ictinus clauatus*
Fabricius.

1972, 7 C
1972, 8 C

出現期 6~9月

6. オニヤンマ科 Cordulegasteridae:

(20) オニヤンマ *Anotogaster sieboldii*
Selys.

1966, 6 A
1967, 7 A
1974, 8 C
1976, 8 A

出現期 6~9月

7. ヤンマ科 Aeschnidae

(21) サラサヤンマ *Jagoria pryori*
Martw.

1973, 6 C

出現期 5~6月

ヤンマ科では小型で黒色地に黄色斑の発達した美麗種であり、兵庫県下では稀種に属している。

(22) ミルンヤンマ *Planaeschna milnei*
Selys.

1967, 9 A
1972, 8 A
1972, 9 C
1975, 8 C

出現期 6~11月

山地に普通に在る黒地に黄色斑のきれいな種で特に複眼は美しい。好暮性を持っている。

(23) アオヤンマ *Aeschebia longistigma*
Selys.

1976, 8 C

出現期 5~7月

名前のごとく全身があざやかな緑色の美しい中型のヤンマで昔は多くいたが近年都市の開発により生息池の埋め立てにより絶滅にひんしているところが多く、生息地より遠くは

なれることは少ないので注意しなければこの珍トンボも見られなくなるかもしれない。

(24) ネアカヨシヤンマ *Aeschnophlebia anisoptera* Selys.

1976, 8 C

出現期 6~8月

太身の大型ヤンマで前種と同様減少し、きわめて稀種といわれるヤンマで、この種を採集した時たいへんなものを採ったという感じがした図鑑などでしてはいたが突然それが目の前に現われた時はまったく驚いた。我が国の特産種ともいえる稀種で西播地の都市開発等に当たっては十分留意願いたいものである。

(25) カトリヤンマ *Cynacantha japonica*
Bartenef.

1974, 8 C

1976, 9 C

出現期 6~11月

最近山地へいかなければ見られなくなった。

(26) ヤブヤンマ *Polycant hagnya melanictera* Selys.

1976, 9 C

出現期 5~9月

♂は黒色地に青緑斑があり美しく、♀は全体に黄色部が多く一見別種の感じがする。

(27) マルタンヤンマ *Anaciaeschna martini* Selys.

1976, 9 C

出現期 6~9月

(この種は三木安貞氏採藏品で分布上重要なので所蔵ではないが同氏の好意により分布に入れた)

南方系の代表的な種で♂は大変美しく採集しにくい黄昏活動をする。

(28) キンヤンマ *Anax parthenope julius*
Bkauer.

1973, 7 C

1974, 8 C

出現期 4~10月

ヤンマ中最普通種であるが近年はそんなに多産する池はあまりない。

- 29) クロスジギンヤンマ *Anax nigrofa nigrofasciatus nigrofasciatus* Ogwma.
 1973, .6 A
 出現期 5~6月
 (この種は目撃種であるが一度採集し、三角紙におさめる際ににがしてしまった) ギンヤンマとよくにているが出現期が早く胸に黒いスジがあるのですぐ見分けられる。
8. エゾトンボ科 *Cordulidae*
 30) トラフトンボ *Epithecina marginata* Selys.
 1973, 5 B
 1976, 5 C
 出現期 4~5月
 5月頃よく古い池の周囲を徘徊飛翔をしている。生活地を失いやがて絶滅するかもしれない。
- 31) オオエゾトンボ *S. V. atrovirens* Selys.
 1976, 9 C
 出現期 6~9月
 関西に産するエゾトンボ科では稀種に属す。
- 32) ハネビロエゾトンボ *Somatochlora clauata* Oguma.
 1972, 9 C
 出現期 6~9月
 やはり前種同様稀種に属す。このようなトンボを絶滅を防ぐにはやはり生活環境を変えないことであるので都市開発の犠牲にはしたくないと思う。
- 33) タカネトンボ *Somatochlora uchidai* Foersper.
 1975, 9 A
 1976, 9 C
 出現期 6~10月
 金緑色をした美しい種で少ないながら揖尾地区にも分布する。山地の小池に9月頃特に多くが縄張り占有飛群を小池の内側を岸に接して飛ぶので採集は容易である。
9. ヤマトンボ科 *Macromiidae*
 34) コヤマトンボ *Macromia amphigena amphigena* Selys.
 1967, 5 A
 1967, 6 A
 1973, 5 C
 1973, 6 C
 出現期 5~8月
 山間の溪流沿いや丘陵地に多くみられる。
- 35) オオヤマトンボ *Epoptthalmia elegans* Brauer.
 1972, 8 C
 1973, 5 C
 1973, 6 C
 1973, 7 C
 1976, 9 C
 出現期 5~9月
 大型のトンボで池をウチワヤンマと共によく徘徊している。
10. トンボ科 *Libellulidae*
 36) ハラビロトンボ *Lyrlothemis pachygastra* Selys.
 1966, 7 A
 1973, 5 C
 1973, 6 C
 出現期 4~9月
 田んぼや小川の付近に多い種だが最近減った。
- 37) シオカラトンボ *Orthetrum albistyrum speciosum* Uhler.
 1966, 6 A
 1973, 5 C
 1975, 9 B
 1976, 8 C
 1976, 9 C
 出現期 4~10月
 この種の♀をムギワラトンボと揖尾地区でも呼ぶ。
- 38) シオヤトンボ *Orthetrum japonicum japonicum* Uhler.
 1966, 6 A
 1973, 5 C
 1975, 9 B
 1976, 8 C
 1976, 9 C
 出現期 5~9月
- 39) オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare melama* Selys.

- 1965, 7 A
 1967, 6 A
 1969, 9 A
 1973, 5 C
 1973, 7 C
 1976, 8 C
 1976, 9 C
 出現期 5~9月
- (40) ショウジョウトンボ *Crocthemis seruilia* Drury.
 1973, 6 C
 1973, 7 B
 1973, 7 C
 1976, 8 C
 出現期 4~10月
 ♂は真紅、♀は橙黄色で♀のテネラル(未熟)は体色は淡く翅も全体に淡黄色でオオキトンボのような色で別種の感がする。
- (41) コフキトンボ *Deielia phaon* Selys.
 1972, 8 C
 1973, 5 C
 1973, 6 C
 出現期 5~9月
 県下では局地的に多産する種である。
- (42) ミヤマアカネ *Sympetrum pedemontanum elatum* Selys.
 1966, 9 A
 出現期 6~11月
- (43) ナツアカネ *Sympetrum darwinianum* Selys.
 1966, 9 A
 出現期 6~12月
- (44) アキアカネ *Sympetrum frequens* Selys.
 1976, 10 C
 出現期 6~12月
- (45) マイコアカネ *Sympetrum kunckeli* Selys.
 1972, 8 C
 1972, 9 C
 1972, 9 D
 出現期 6~11月
- (46) ヒメアカネ *Sympetrum parum* Bartenbf.
 1972, 9 D
 1976, 9 C
 出現期 7~10月
 山すその水田に多いが珍しい種類である。
- (47) マユタテアカネ *Sympetrum eroticum eroticum* Selys.
 1966, 9 A
 1972, 8 A
 1972, 9 C
 1972, 9 D
 1973, 7 C
 1975, 9 B
 1975, 9 A
 1976, 8 C
 出現期 6~12月
- (48) リスアカネ *Sympetrum risirisi* Bartenef.
 1966, 9 A
 1972, 8 A
 1972, 9 C
 1973, 7 C
 1975, 9 B
 1976, 8 C
 出現期
- (49) ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum* Selys.
 1966, 9 A
 出現期 7~10月
- (50) ナニワトンボ *Sympetrum gracile* Oguna.
 1975, 9 B
 1976, 8 C
 1976, 9 C
 出現期 7~11月
 近畿地方および中国・四国の瀬戸内海に面した地域から記録されているに過ぎない。ナニワトンボのナニワとは大阪の意味。
- (51) ネキトンボ *Sympetrum speciosum speciosum* Oguna.
 1972, 8 C
 出現期 6~10月
 個体数は少ない。
- (52) キトンボ *Sympetrum croceolum* Selys.

- 1976, 10 C
出現期 7~11月
- 53) ウスバキトンボ *Pantala flarescens*
Fabricius.
1972, 9 D
1973, 6 C
1976, 8 C
1976, 9 C
出現期 6~10月
初夏より秋までみられる。特に9月上旬にはよく群飛する。世界的に分布の広は種で世界共通種とされる。
- 54) ハネビロトンボ *Tramea virginia*
Rambur.
1975, 7 C
出現期 5~10月
小笠原諸島、四国南部、九州南部にすむ種であり、本州でも愛知、三重、静岡、長野、千葉、各県でも採集されたことがあり、兵庫県下でも採集されたことが数回ある。この御津町産はやはり偶発と考える。
- 55) コシアキトンボ *Pseudothemis zonata*
Burmeister.
1972, 8 C
1973, 6 C
1973, 7 B
1973, 7 C
出現期 6~9月
- 56) チョウトンボ *Rhyothemis faliginosa*
Selys.
1972, 8 C
1973, 7 C
出現期 6~9月

以上10科56種の記録を得て揖保地区の蜻蛉相の大体のようすが判って頂けたと思う。しかし、私個人が調査したものでは偏差した採集資料ともなっているかもしれない。今後残された課題として揖保川をはさんだ揖保郡新宮町、宍粟郡山崎町、宍粟郡一宮町全域を調査しなければいけないと思う。

終わりに揖保郡および竜野市に分布可能な種を列挙しておく。

分布可能と思われる種 (和名のみ)

ゲンバイトンボ、ホソミオツネントンボ、オオア

オイトトンボ、ムカシヤンマ、キイロサナエ、アオサナエ、コシボソヤンマ、オオルリボシヤンマ、ヨツボシトンボ、ハッチョウトンボ、タイリクアカネ、コノシメトンボ、マダラナニワトンボ、オオキトンボ

◆参考文献◆

- 朝比奈正二郎 日本の蜻蛉「新昆虫」(北隆館) 1956~1958
他 日本昆虫図鑑 北隆館 昭和40年発行
石田昇三 日本生態図鑑 トンボ編(北隆館) 昭和44年発行
奥谷植一他 兵庫県の自然の現状(兵庫県生活部自然課) 昭和49年発行
関西トンボ談話会 近畿地方のトンボ
ムカシトンボ科 1974発行
ムカシヤンマ科
サナエトンボ科
オニヤンマ科
ヤンマ科 1975発行
ヤマトンボ科
エゾトンボ科
トンボ科 1976発行
[S. 05:姫路市]

ナガサキアゲハ御津町 室津に大発生

花岡 正

8月30日当会のメンバーが御津町新舞子にて1雄を採集(これは同市では最初の採集品だと思ふ)この情報で9月4日に米村氏、唐土氏と私の3人で室津に採集に行き結果24雄6雌を採集。ネットに入れ放したり、採り逃したりした物を合せると60頭以上を:大浦でも2雄を目撃した。

この室津では栽培を放棄されたミカン畑や、野生の木があちこちに見られ、産卵も確認したので土着の可能性が非常に高い。来年の春が楽しみだ。

(S. 19:姫路市)